

新宿区教育委員会会議録

令和6年第2回臨時会

令和6年7月12日

新宿区教育委員会

令和6年第2回新宿区教育委員会臨時会

日 時 令和6年7月12日（金）

開会 午後 2時00分

閉会 午後 4時01分

場 所 新宿区役所6階 第2委員会室

出席者

新宿区教育委員会

教 育 長	針 谷 弘 志	教育長職務代理者	年 綱 和 代
委 員	古 笛 恵 子	委 員	星 野 洋
委 員	鴨 川 明 子	委 員	的 場 美規子

説明のため出席した者の職氏名

次 長	遠 山 竜 多	教 育 調 整 課 長	齊 藤 正 之
教 育 指 導 課 長	坂 元 竜 二	指 導 主 事	馬場園 和 也
教 科 用 図 書 検 討 委 員 会 委 員	池 田 知	数 学 科 調 査 委 員 会 長	古 賀 正 勝
保 健 体 育 科 調 査 委 員 会 委 員 長	畔 柳 徹 朗	美 術 科 調 査 委 員 会 長	伊 藤 裕 一
道 徳 科 調 査 委 員 会 委 員 長	早 川 隆 之		

書記

教 育 調 整 課 主 査	古 市 将 貴	教 育 調 整 課 係 長	大 原 颯 人
---------------	---------	---------------	---------

議事日程

協 議

- 1 令和7年度使用新宿区立中学校教科用図書の採択について（教育指導課長）

◎ 開 会

○教育長 ただいまから令和6年新宿区教育委員会第2回臨時会を開会します。

本日の会議には全員が出席していますので、定足数を満たしています。

本日の会議録の署名者は、的場委員にお願いいたします。

○的場委員 かしこまりました。

◆ 協議1 令和7年度使用新宿区立中学校教科用図書の採択について

○教育長 本日は、協議1 令和7年度使用新宿区立中学校教科用図書の採択についての協議を行います。

なお、本日、議事はございません。

今回の教科用図書採択では、令和7年度に使用する区立中学校の全ての教科の教科用図書について絞り込みを行い、採択を行います。

なお、採択した教科用図書を使用する期間は、令和7年度から令和10年度までの4年間となります。

初めに、今回の教科用図書採択の日程についてお諮りします。

教科用図書は、法令の規定に基づき、本年8月31日までに採択を行い、東京都に報告する必要があります。

具体的な採択の日程といたしましては、第4回定例会で御報告させていただきましたとおり、本日7月12日のほか、7月18日及び7月25日の会議で協議を進め、各種目の採択候補図書を1種に絞り込んでいきたいと考えています。そして、協議の結果を踏まえ、絞り込み理由の確認など議案を整え、8月2日の第8回定例会で御審議いただき、採択を行いたいと考えています。

なお、各臨時会における協議で1種に絞り込めなかった種目がある場合は、できる限りその次の臨時会で、予定されている種目の採択候補図書の協議の後、絞り込みを行いたいと考えています。その上で、予定の7月25日までに全ての教科用図書の絞り込みが行えなかった場合には、7月29日または7月31日にも御協議いただきたいと思います。

以上が採択の日程の提案となりますが、御意見、御質問がありましたら、お願いいたします。

○年綱委員 ただいま教育長から御提案があった日程でよろしいかと思います。

○教育長 ありがとうございます。年綱教育長職務代理者から御発言をいただきましたが、ほかに御意見、御質問はございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

○教育長 御意見、御質問がなければ、提案いたしました日程で進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

○教育長 ありがとうございます。

それでは、本年度の日程については、そのように進めさせていただきます。

次に、本日の協議の進め方についてお諮りします。

本日は、まず事務局から報告を受けます。

次に、教育委員会会議規則第13条の規定に基づき、教科用図書を専門的に調査した教科用図書調査委員会の各教科委員長に出席を要請し、学習指導要領や教科特性などの説明を受け、教科用図書の調査検討の結果について質疑を行います。

最後に、教科用図書検討委員会の検討結果について、検討委員会委員から説明を受け、質疑を行い、採択の対象となる教科用図書の絞り込みを行います。

以上が、本日の協議の進め方の御提案となりますが、いかがでしょうか。

○年綱委員 ただいま教育長から御提案があった進め方でよろしいかと思います。

○教育長 ありがとうございます。年綱教育長職務代理者から御発言をいただきましたが、ほかに御意見、御質問はございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

○教育長 御意見、御質問がなければ、提案のとおり進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

○教育長 ありがとうございます。

次に、協議を行う種目の日程を確認させていただきます。

本日7月12日に数学、保健体育、美術、道徳を、7月18日に社会（地理的分野）、社会（歴史的分野）、社会（公民的分野）、地図、理科、国語、書写を、7月25日に英語、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）、技術・家庭（技術分野）、技術・家庭（家庭分野）の協議を行うことでよろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

○教育長 特に御意見、御質問はないようです。

以上で、当面の日程と採択までの手順を確認いたしました。

なお、会議の進め方の詳細につきましては、今後協議していく中で、必要に応じて皆様と決めていきたいと思えます。

それでは、事務局から報告を受けます。

まず初めに、教科用図書採択に係る要望書等及び教科書展示会でのアンケートについて報告をお願いします。

なお、この後の説明については、着座をお願いいたします。

○教育調整課長 教育委員会に寄せられました教科用図書採択に係る要望書等、また、教科書展示会で行ったアンケートの回答につきましては、各委員に配布させていただいているところです。教科用図書採択に係る要望書等につきましては、2団体から計2件の要望書等をいただいております。

また、教科書展示会につきましては、6月4日から6月17日まで特別展示を実施し、6月18日から7月5日まで法定展示を実施いたしました。

なお、教科書展示会会場でのアンケートの回答総数は31件となっております。

事務局からは以上となります。

○教育長 要望書等及びアンケートについての報告が終わりました。

なお、要望書等及びアンケートの回答につきましては、教育委員の皆様にも事前にお配りし、御覧いただいておりますが、教科書採択は、教育委員会の判断と責任において公正かつ適正に行う必要がありますので、採択結果をもって、いただいた御要望等へのお答えとさせていただきます。

次に、教科用図書検討委員会における総括的な検討経過、検討の視点、検討結果について、担当する教育委員会事務局職員から報告を受け、それについて質疑を行います。

それでは、報告をお願いいたします。

○指導主事 教育指導課指導主事でございます。最初に、検討委員会における検討日程について申し上げます。

5月16日、第1回の検討委員会におきまして、教育長より検討依頼がありました。検討日程、検討委員の役割を確認いたしました。12名が、ここで検討委員として指名を受けました。第2回の検討委員会は、6月20日に行いました。学校調査結果及び調査委員会調査結果を基

に、数学、保健体育、美術、道徳について検討を行いました。第3回の検討委員会は、7月4日に行われました。同じく、学校調査結果及び調査委員会調査結果を基に、社会、理科、国語、書写について検討を行いました。第4回検討委員会は、7月11日に行われました。英語、音楽、技術・家庭について検討を行いました。

また、検討委員会調査報告書の文言の最終検討等もここで行いました。

以上のように、4回の検討委員会を経て検討を行ってまいりました。

次に、採択候補の総点数について申し上げます。

国語4種、書写4種、社会（地理的分野）4種、社会（歴史的分野）9種、社会（公民的分野）6種、地図2種、数学7種、理科5種、音楽（一般）2種、音楽（器楽合奏）2種、美術3種、保健体育4種、技術・家庭（技術分野）3種、技術・家庭（家庭分野）3種、英語6種、道徳7種の計71種142冊の検討を行いました。

次に、検討委員会における協議の方針を申し上げます。

学校調査と調査委員会調査の結果を踏まえながら、検討委員会として独自の評価を行いました。検討の結果、場合によっては、調査委員会調査結果と評価が異なる場合があります。

検討委員会では、評価に際し、優れている点を分析いたしました。具体的にページを開きながら、それはどこを指しているのかということを検討委員が一つ一つチェックをして見ていき、これを確認いたしました。

教科書を参照しながら、内容から使用上の便宜等について、4項目の内容について検討に当たりました。検討委員として独自の意見をそれぞれの委員からいただき、それらを参考に評価をいたしました。また、学校調査結果、調査委員会調査結果も参考にしながら、検討委員会の評価を決定いたしました。

次に、検討委員会報告書の見方ですが、国語から特別の教科道徳まで、種目ごとに1ページにまとめてあります。意見欄には、検討委員の意見を基に、調査委員会の総合的な意見を加味して作成しました。

意見欄については、評価がCよりもB、BよりもAの記述が多くなっております。それだけ優れている点があり、採択にふさわしいと考えることから、記載が多くなされているということです。

なお、各科目の調査報告書もお配りしています。

調査報告書、数学を御覧ください。

まず、資料をおめくりいただきますと、調査委員会からの報告書となります。しばらくお

めくりいただきますと、中学校調査報告書になります。中学校が10校ございますので、10校中何校がA、B、Cの評価をつけたかを御覧いただければと思います。

また、それ以降のページにつきましては、東京都教育委員会が作成した資料となります。東京都教育委員会は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第10条及び第11条の規定により、教科書の調査研究を行うこと、また、これに基づいて各市区町村に指導・助言をすることとなっております。そのため、本資料には、学習指導要領の目標等がまとめられております。こちらも併せて御参照ください。

では、それぞれの教科についての補足説明をさせていただきます。

国語。調査委員会調査の結果では、A評価は光村図書の1者のみでありました。学校調査の結果については、光村図書をA評価とした学校が9校でした。これらを踏まえ直接教科書に当たり検討した結果、光村図書は特に語彙ブックが優れており、思考力、判断力、表現力を高める工夫が見られる。また、詩歌やSNSに関する教材が多く、作品の取上げが多角的であり、話すこと聞くことの活動が充実している等の理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会でA評価としたのは光村図書1者でした。

書写。調査委員会調査の結果では、A評価は光村図書の1者のみでありました。学校調査の結果では、光村図書をA評価とした学校が7校でした。これらを踏まえ直接教科書に当たり検討した結果、光村図書は書字ブックの別冊が充実しており、常用漢字表がカラーで印刷されていて生徒が見やすい等の理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会でA評価としたのは光村図書1社でした。

社会（地理的分野）。調査委員会調査の結果では、A評価は東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4者でした。4つの観点の評価は、東京書籍がAが4つ、教育出版がAが2つ、Bが2つ、帝国書院がAが4つ、日本文教出版がAが3つ、Bが1つでした。

また、学校調査の結果では、帝国書院をA評価とした学校が7校でした。これらを踏まえ直接教科書に当たり検討した結果、帝国書院は問いの立て方に優れ、学び方が明確に示されている、地図や写真が視覚的に捉えやすい等の理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会でA評価としたのは帝国書院1者でした。

社会（歴史的分野）。調査委員会調査の結果では、A評価は東京書籍と帝国書院の2者でした。また、学校調査の結果では、東京書籍をA評価とした学校が6校、帝国書院をA評価とした学校が8校でした。

これらを踏まえ直接教科書に当たり検討した結果、帝国書院は覚える社会から考える社会

へという流れの中で、各単元の導入部分が優れている。また、世界史と日本史のつながりや比較を理解しやすく、歴史から現代の状況を学ぶつくりとなっている等の理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会でA評価としたのは帝国書院1者でした。

社会（公民的分野）。調査委員会調査の結果では、A評価は東京書籍と帝国書院の2者でした。また、学校調査の結果では、東京書籍をA評価とした学校が8校、帝国書院をA評価とした学校が6校でした。これを踏まえ直接教科書に当たり検討した結果、帝国書院は二次元コードなどから他分野との結びつけをしやすく、また、ライフプランなどを通じて金融、為替などへの興味・関心を高めさせるよう工夫がなされている等の理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会でA評価としたのは帝国書院1者でした。

地図。調査委員会調査の結果では、A評価は東京書籍と帝国書院の2者でした。また、学校調査の結果では、東京書籍をA評価とした学校が2校、帝国書院をA評価とした学校が8校でした。これらを踏まえ直接教科書に当たり検討した結果、帝国書院は地域の特色や諸事情などにも考察が及び、また、地名、地図、俯瞰図の記載数が多く、系統も詳細である等の理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会でA評価としたのは帝国書院の1者でした。

数学。調査委員会調査の結果では、大日本図書と啓林館がA評価でありました。また、学校調査の結果では、東京書籍をA評価とした学校が7校でした。これらを踏まえ直接教科書に当たり検討した結果、東京書籍はイラストなど身近に数学を感じる工夫がなされ、生活につながっている、また、保護者へのメッセージも見られ優れている等の理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会でA評価としたのは東京書籍1者でした。

理科。調査委員会調査の結果では、A評価は東京書籍の1者のみでありました。学校調査の結果については、東京書籍をA評価とした学校が7校でした。これを踏まえ直接教科書に当たり検討した結果、実験、観察などの探究過程を生徒が理解しやすく、また、理科の見方・考え方を生徒が分かりやすく記述している等の理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会でA評価としたのは東京書籍1者でした。

音楽（一般）。調査委員会調査の結果では、A評価は教育芸術社の1者のみでした。また、学校調査の結果では、教育芸術社をA評価とした学校が9校でした。これらを踏まえ直接教科書に当たり検討した結果、教育芸術社は学びのコンパスなど自分たちの表現を工夫し、話し合い、他者の思いと自分の思いを共有しながら生徒同士の協働的な学び合いができることは優れている等の理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会でA評価としたのは教

育芸術社 1 者でした。

音楽（器楽合奏）。調査委員会調査の結果では、A評価は教育出版の 1 者のみでした。また、学校調査の結果では、教育芸術社を A 評価とした学校が 8 校でした。これらを踏まえ直接教科書に当たり検討した結果、教育出版は生徒が楽器の基礎的な奏法を身に付けるという点で、写真が豊富かつ大きく取り上げられており、特に篠笛、ギター、太鼓が分かりやすい等の理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会で A 評価としたのは教育出版 1 者でした。

美術。調査委員会調査の結果では、A評価は光村図書の 1 者のみでした。また、学校調査の結果では、A評価とした学校は開隆堂出版、光村図書ともに 4 校でした。これらを踏まえ直接教科書に当たり検討した結果、光村図書は各単元に学習の目標が示され、教師の授業の進行のしやすさに寄与している等の理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会で A 評価としたのは光村図書 1 者でした。

保健体育。調査委員会調査の結果では、東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研ともに B 評価でした。4 つの観点の評価は、東京書籍が B が 3 つ、C が 1 つ、大日本図서가 B が 4 つ、大修館書店が A が 1 つ、B が 3 つ、学研が B が 4 つでした。学校調査の結果では、A 評価とした学校は大修館書店、学研、ともに 5 校でした。これらを踏まえ直接教科書に当たり検討した結果、大修館書店は性に関する記述が新宿区の課題と一致しており、また、ストレス社会に関することなど現代の社会状況を反映した内容となっている等の理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会で A 評価としたのは大修館書店 1 者でした。

技術・家庭（技術分野）。調査委員会調査の結果では、A評価は教育図書の 1 者のみでした。学校調査の結果では、教育図書を A 評価とした学校は 5 校、東京書籍と開隆堂出版を A とした学校がともに 4 校でした。これらを踏まえ直接教科書に当たり検討した結果、教育図書は別冊「スキルアシスト」が製作や育成に必要な基礎技能が丁寧に解説されている、また、実習において重要なポイントを写真で比較することができ、授業で使いやすいつくりとなっている等の理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会で A 評価としたのは教育図書 1 者でした。

技術・家庭（家庭分野）。調査委員会調査の結果では、A評価は教育図書の 1 者のみでした。学校調査の結果では、A評価とした学校は東京書籍、教育図書、ともに 4 校でした。これらを踏まえ直接教科書に当たり検討した結果、教育図書は導入となるガイダンス「つながぐ・つながる」の記述が分かりやすく、生徒が家庭分野を自分のこととして考えやすい等の

理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会でA評価としたのは教育図書1者でした。

英語。調査委員会調査の結果では、A評価は東京書籍の1者のみでした。また、学校調査の結果では、東京書籍をA評価とした学校は8校でした。これらを踏まえ直接教科書に当たり検討した結果、東京書籍は5領域の中で話すこと（やり取り）、話すこと（発表）を重視している点や身近な話題を取り上げている点が評価できる等の理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会でA評価としたのは東京書籍1者でした。

道徳。調査委員会調査の結果では、A評価は東京書籍、日本文教出版、あかつき教育図書の3者でありました。学校調査の結果では、教育出版をA評価とした学校が5校でした。これらを踏まえ直接教科書に当たり検討した結果、東京書籍は、発問に工夫が見られるとともに、構成も評価できる。写真を豊富に取り入れ、特に葛藤教材についてつくりが優れている。また、考えを深めさせやすい教材づくりがなされている。アンコンシャス・バイアスについての記述が優れている等の理由から優れている点が多いと判断し、検討委員会でA評価としたのは東京書籍1者でした。

以上です。

○**教育長** 教科用図書検討委員会における総括的な検討経過等についての報告が終わりました。本年度の検討経過のうち、総括的な部分について御意見、御質問がありましたら、お願いいたします。

〔発言する者なし〕

○**教育長** 特にないようですので、次に、教科用図書調査委員会の各教科委員長に御入室をいただきます。

〔教科用図書調査委員会の各教科委員長 着席〕

○**教育長** それでは、協議の進め方ですが、専門的に調査検討を行った教科用図書調査委員会の各教科委員長から、種目ごとに「学習指導要領の中での目標」「教科の特性等」「調査委員会における調査の内容」「その他評価を決定する上での主な議論」などについて説明を受け、質疑を行います。

その後、教科用図書検討委員会の検討結果について、検討委員会委員から説明を受け、質疑を行い、採択の対象となる教科用図書の絞り込みを行います。

それでは、まず、数学について御説明をお願いいたします。

○**数学科調査委員会委員長** 本日はよろしくお願いします。

数学科調査委員会調査の結果について御説明いたします。

初めに、数学科の目標についてです。

中学校数学科の目標については、1、知識及び技能、2、思考力、判断力、表現力等、3、学びに向かう力、人間性等の3つの柱で整理し示しています。このことを踏まえ、中学校数学科の目標は、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成すると設定され、先ほど述べた3つの柱に沿って、（1）数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。（2）数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。（3）数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養うと、具体的に示されています。

数学科調査委員会では、この目標を踏まえ、7者の教科書について調査を行いました。大前提として、どの教科書も文部科学省の検定を通っているものであり、基本的に不適なものはありません。また、各発行者とも、総ページ数など、基本的な部分について大きな違いはありません。

それでは、各発行者の総合評価と特に優れた点や特徴についてお伝えします。

まず、1つ目の発行者、東京書籍についてです。

東京書籍の総合評価はBといたしました。既習内容に加え、今後学習する内容が領域ごとに2ページでまとめられており、全体を通して、学習の流れが分かりやすいということから、以上の評価といたしました。

次に、2つ目の発行者、大日本図書についてです。

大日本図書の総合評価はAといたしました。問題発見と解決の流れが「見い出す、探る、解決する、深める」と明確にされているので、生徒が主体的に学習活動を行いやすい。各単元の最初に「めあて」が明示されており、そのねらいに即した活動が具体的に示してあるので、生徒は主体的に学習活動を行うことができるといったことから、以上の評価といたしました。

次に、3つ目の発行者、学校図書についてです。

学校図書の総合評価は、Bといたしました。全体的に扱っている例題、問題がやや難しく、発展的な題材として秀逸であるということから、以上の評価といたしました。

次に、4つ目の発行者、教育出版についてです。

教育出版の総合評価は、Bといたしました。問題の随所に「説明しなさい」という具体的な表記があり、取り組みやすくなっている。各章の巻末には「総合問題」「学びのマップ」などが充実しているといったことから、以上の評価といたしました。

次に、5つ目の発行者、啓林館についてです。

啓林館の総合評価は、Aといたしました。問題の配列に工夫が見られ、発達段階に応じて取り組める問題があり、発展的な学習課題も充実している。デジタルコンテンツを活用して、生徒個人が学習に取り組めるような工夫が見られる。巻末で高校の内容を扱っており、発展的な学習になり、高校へのつながりとするができるということから、以上の評価といたしました。

次に、6つ目の発行者、数研出版についてです。

数研出版の総合評価はBといたしました。各章末に「説明しよう」「見つけよう」「学んだことを活用しよう」などの特設教材があり、生徒の興味・関心を引き出すとともに、数学的な考え方を伸ばし、単元の学習を広げたり深めたりすることができるといったことから、以上の評価といたしました。

最後に、7つ目の発行者、日本文教出版についてです。

日本文教出版の総合評価は、Bといたしました。目次や各章冒頭で既習事項の確認があり、各章ともこれまでとのつながりを意識して学習に取り組むことができるということから、以上の評価といたしました。

調査委員会としては、どの教科書もそれぞれの特徴や工夫があり、よさも感じました。その中で、数学を教える立場として授業でどのように使用するか、生徒がどのように使用するのかのイメージを共有しながら、意見交換及び検討を重ねました。その結果、ここまで説明しましたとおり、A評価は大日本図書、啓林館、B評価は東京書籍、学校図書、教育出版、数研出版、日本文教出版となりました。

以上です。

○教育長 ありがとうございます。説明が終わりました。御意見、御質問がありましたら、お願いをいたします。

○年綱委員 委員長にお聞きしたいのですが、数学は、生徒一人一人の理解度や進度にかなり差が出て幅があると思っています。御指導に当たり、現場の先生方がその点をすごく苦慮なさっていると思うのですが、いかがでしょうか。

○数学科調査委員会委員長 生徒一人一人のレベルに差はあるのですが、教え方として、今現在、各校とも少人数授業、習熟度別の授業を展開しております。そのため、発行者それぞれの特性はあるのですが、どの教科書であっても、質問の仕方などを工夫してレベルに合わせた形で授業を進めていくことができますので、特に苦慮はせず、基本・標準・発展、それぞれ担当する教員がローテーションしながら、各生徒のレベルに合わせて丁寧に授業を進めているところです。

○年綱委員 ありがとうございます。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

○古笛委員 1つ確認させていただきたいのですが、東京書籍、現在使っている教科書についてです。比較的、学校調査や検討委員会の評価は良いのですが、調査委員会の報告書で、「使用上の便宜」の評価でCがついている点がなぜかと思いました。ほかと比べてここがA、Bではなかった理由を教えてくださいませんか。

○数学科調査委員会委員長 説明の部分が大まかになり過ぎているという場所がありましたので、そこはポイントとして下がってしまったというところですね。それ以外の教科書ですと、新しい分野については、段階を踏んで、どこまで説明して、そこから先どう答えさせるか、考えさせるかヒントになる部分が細かく出ている教科書もあつたりするのですが、その部分が標準的なあつたため、Cにさせていただきました。

○古笛委員 大まかな場所があるというところについてですが、そういった点は、先生がそこを補って御説明し、対応されているということでしょうか。

○数学科調査委員会委員長 現在使用している教科書であれば、それぞれの教員が行っていきます。また、新しい教科書、仮にこれを使うのであれば、先ほどお伝えしましたが、習熟度別で、この子たちにはここまで、この子たちにはもう少し深く、という形で調整は十分可能ですので、その形で対応できます。

○教育長 ほかにいかがですか。

〔発言する者なし〕

○教育長 特になければ、次に保健体育についての御説明をお願いいたします。

○保健体育科調査委員会委員長 保健体育科調査委員会調査の結果について、説明いたします。

中学校保健体育科の目標は、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す

いうことから、次の3点が挙げられています。

(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。(2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。(3) 生涯にわたって運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うとされており、義務教育段階で育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、引き続き体育と保健を関連させていく考え方を強調したものとなっております。

続いて、各発行者の総合評価と主な理由についてお話しします。

本調査委員会では、新宿区の子どもたちの学習に適しているかどうか、中学生が身近な問題として捉えられる内容になっているかどうか、新宿区の教員の使いやすさという視点を重視して調査を実施いたしました。4社ありますので、ポイントについてお話しいたします。

初めの発行者は、東京書籍です。

総合評価は、Bといたしました。主な理由といたしましては、SDGs、テクノロジーの進化、SOGIE等の資料が豊富で、イラストや写真が多く取り扱われており、場면을想像して考えを深めることができること。教科書に直接記入できる欄が多く、扱いやすいといった点が挙げられます。

続いて、次の発行者、大日本図書についてです。

総合評価は、Bといたしました。主な理由といたしましては、ページ配置が工夫されており、場면을想像して考えを深めることができること、章で学習する内容が発達の段階において明文化されており、生徒が学習の見通しを持って取り組みやすい内容となっていることが挙げられます。

続いて3者目、大修館書店についてです。

総合評価は、Bといたしました。主な理由といたしましては、章のまとめにおいて観点別に問題が提示されていることから、教師が評価しやすい教科書となっていること。情報量が多く、様々な視点から取り扱うことができること。止血法等の実習のイラスト・動画が充実しており、実技の学習の充実を図ることができることが挙げられます。

最後に、学研についてです。

総合評価は、Bといたしました。主な理由といたしましては、生徒が保健体育を学習する上での学習方法が豊富で、飽きずに工夫して学習に取り組めるような教材になっていること。授業のねらい、課題、問題点、解決の手だてがきちんと明記されており、進んで学習に取り

組みやすいこと。学習したことを学習記録に集約することができ、授業の振り返りがしやすいことが挙げられます。

説明は以上です。

○教育長 説明が終わりました。御意見、御質問がありましたら、お願いいたします。

〔発言する者なし〕

○教育長 特にないようですので、次に美術について御説明をお願いいたします。

○美術科調査委員会委員長 美術科調査委員会調査の結果について御説明いたします。

調査の基盤となるのは、学校教育法に示されている学力の3要素、それを再整理した現学習指導要領の3観点、1つ目が知識及び技能、2つ目が思考力、判断力、表現力等、3つ目が学びに向かう力、人間性等、この3つの柱の習得であり、その全体趣旨である主体的、対話的で深い学びの実現です。

このことを踏まえ、初めに美術科の目標についてです。

美術科の目標は、小学校、図画工作科における学習経験と、そこで培われた感性や表現及び鑑賞に関する資質・能力を基に、中学校美術科に関する資質・能力の向上と、それを通した人間形成の一層の進化をねらいとしています。

具体的には、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、育成すべき資質・能力を他の教科と同様、3つの柱で整理してあります。その1つ目、知識及び技能については、対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする、というものです。2つ目、思考力、判断力、表現力等については、造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする、というものです。最後の3つ目、学びに向かう力、人間性等については、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う、というものです。

以上、この3つを相互に関連させながら育成できるよう、確かな実践を推進していくことが求められています。

また、美術科の特性としては、第1学年では学習内容に示す事項の定着を図ることを重視し、第2学年及び第3学年では、第1学年の内容に示す事項において身につけた資質・能力をさらに深めたり柔軟に活用したりして、より豊かに高められるよう構成していることが挙げられます。そのため、どの発行者の教科用図書も第1学年だけが単独で、第2・第3学年

は2学年分で1冊という構成になっています。

次に、発行者ごとの総合評価と、特に優れた点や特徴についてです。それぞれのポイント・特徴を中心にお話をさせていただきます。

まず、1つ目の発行者は開隆堂出版です。その大きな特徴は、教科書表紙の質感に工夫があることです。これは大きな特徴であり、視覚だけでなく、触って楽しむことから、学習への興味・関心の高まりが期待されます。また、紙面においても、大きな図版が多用されており、繊細な色味やタッチを鑑賞できます。

2点目は、全体を通してキャラクターが随時に活用され、生徒にとって親しみやすくつくられていることです。この面からも美術の学習に対する興味・関心を持たせることができます。

3点目です。2・3年の教科書120、121ページに、「美術と私と社会」というページがありますが、そこでは現在活躍中の作家を取り上げるなど、学びの資料として美術的な技巧だけではなく、日常生活や社会との関連を広く扱っています。

4点目です。学習内容ごとに3観点が明示されており、生徒にとっても学習のねらいが把握しやすい構成になっています。

以上の理由により、開隆堂出版の総合評価はBといたしました。

2つ目の発行者、光村図書です。

1点目の大きな特徴は、資料が別冊になっており3年間を通して活用できること、また、その内容も表現の仕方や技能について具体的で活用しやすい構成になっている点です。また、教科書本編にも体感ミュージアムや学習を支える資料など、資料が豊かに掲載されています。

2点目は、教科書全体のレイアウトにめりはりがあり、印象的で迫力、立体感を感じる作品写真が掲載されており、生徒の興味・関心を高めている点です。

3点目は、生徒の発想から制作までの実例が示されているなど、授業の流れが一体的につかめるように構成されている点です。また、学習内容ごとに3観点が明示されており、生徒にとっても学習のねらいが把握しやすい構成になっています。

4点目は、基礎を定着させる1年生の教科書において、よく使われる言葉を例示したり、作品に込めた思いを紹介するなど、言葉を大切にした編集がされている点です。

5点目は、平和を願う題材や防災のデザイン、SDGsなど現代の諸課題に対応した題材が豊富に扱われており、社会との関連を考えを深めながら、本区の取組や教育に適した構成になっている点です。

以上の理由により、光村図書の総合評価はAといたしました。

次に、3つ目の発行者、日本文教出版です。1点目の大きな特徴は、單元ごとに3観点が明示されており、その表現も簡潔で生徒にとって分かりやすく、学習のねらいが把握できる構成になっている点です。

2点目は、全体として紙面のレイアウトが整理されすっきりとしており、見やすい構成になっている点です。

3点目は、作品例を鑑賞するヒント、作者の言葉など、それが掲載されており、表現と鑑賞が一体的に深められるように工夫されている点です。

4点目は、身の回りにある多様な美術作品、まちの中の施設や看板などを多く取り上げており、生徒が生活や社会の中の美術文化と豊かに関わることができる構成になっている点です。

以上の理由により、日本文教出版の総合評価はBといたしました。

以上です。

○教育長 説明が終わりました。御意見、御質問がありましたら、お願いをいたします。

私から1つ質問ですが、学校訪問に行って美術を見たイメージですけれども、美術はどちらかというと手を動かすような創作活動に励んでいる場面が多く見受けられます。それと教科書との活用の仕方というのはどのようにお考えかお尋ねしたいと思います。

○美術科調査委員会委員長 今の質問にお答えいたします。

まず最初に単元に入る際に、教科書を使いながら導入を行い、また、興味・関心を高めるところでも教科書を活用します。それから、作品創作活動の途中での振り返りであったり、技巧の確認であったり、様々な場面で教科書を活用いたします。

また、鑑賞という点で、教科書の写真や図版を使ったり、先程申し上げた環境学習や、新宿区の平和のポスターなどをつくる際には、教科書に載っているデザインを子どもたちが参考にしたりしている状況です。

以上です。

○教育長 ありがとうございました。

ほかに御意見、御質問などございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

○教育長 特にないようですので、続いて、道徳についての御説明をお願いいたします。

○道徳科調査委員会委員長 初めに、特別の教科道徳の目標についてです。

特別の教科道徳の目標は、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることを4つの内容項目の視点で育成していくという目標を掲げています。

1つ目は、A、主として自分自身に関することです。2つ目は、B、主として人との関わりに関することです。3つ目は、C、主として集団や社会との関わりに関することです。4つ目は、D、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することです。

この4つの内容項目の柱の中に内容項目が22個示されており、その内容項目に沿って、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成していくことが、特別の教科道徳の目標になっています。

次に、各発行者の総合評価と、特に優れた点や特徴についてです。

本調査委員会では、教材への発問、いじめ問題への対応、人権教育への対応、E S D、S D G s への対応、今日的な課題への対応等の視点を重視して調査を実施いたしました。

報告書は、発行者7者ありまして、7ページにわたりますので、ポイントを中心にお話をさせていただきます。お話しするに当たって、道徳の教科用図書、3年生のものをページを示しながら説明していきたいと思っておりますので、3年生のものをお手元に準備していただけるとありがたいと思っています。

まず、1つ目の発行者は東京書籍です。

東京書籍の総合評価は、Aといたしました。

まず、内容の選択についてです。内容の選択の中で評価した点に、区の特徴、実態に応じた内容・構成の観点として、東京書籍2ページ、3ページにありますとおり、テーマ別の教材配列が1年間の学ぶこととなっており、分かりやすく明記されているというところが挙げられます。

また、新宿区は様々な地域や国から人々が集まる場所であり、「集団や社会との関わり」について意識をした学習が展開できる、実態に即したものとなっていると考えます。

次に、使用上の便宜についてです。3年の東京書籍201ページ、後ろのほうの「自分の学びをふり返ろう」という巻末に、黄色の振り返りシートが3枚ついています。切り取ることもできるので、学期ごとに教員が集め、評価に活用することも可能です。

また、めくっていただきまして、最後に付録で、巻末に心情円図が付されています。このような、葛藤教材など授業中に活用できるツールが、付録としてついています。

続いて、教育出版。やはり3年生のもののページを示しながらお話しさせていただきたいと思っています。教育出版の総合評価は、Bといたしました。3年、44ページ、「ひろば」を御覧ください。

教材での学びを広げたり深めたりする「ひろば」の内容を活用することで、生徒の実態に応じた指導ができます。

続いて192ページ、教科書の終わりに、授業ごと、学期ごとに1年間のまなびをまとめる部分がございます。授業ごとに自己評価をするページがついており、まなびを振り返ることにもつなげていけるところです。

続いて、光村図書です。光村図書の総合評価は、Bといたしました。

チャレンジとして、「問いを立てよう」「演じてみよう」などの課題があります。24ページを御覧ください。チャレンジというページに「問いを立てよう」とありまして、問いを立てて話し合う手法例が提示されています。短い教材である、「私がピンク色のキャップをかぶるわけ」を読んで、考え議論する方法について示されています。

同じく44ページです。「演じて考えよう」というところですが、「三年目の『ごめんね』」の教材の一場面を、演じて考えようというチャレンジ課題で考えを深める手法が紹介されています。

さらに、45ページからは、「まなびをプラス」というページに、「三年目の『ごめんね』」をさらに深める別の教材が準備されています。

170ページ、「一年間の学びを振り返ろう」という時間が、授業の年間の最後に計画に入っております。オリエンテーション、まとめができるようになっています。

続きまして、日本文教出版も同じく3年の教科書で説明させていただきたいと思っています。日本文教出版の総合評価はAといたしました。

日本文教出版の教科書の特徴は、読み物と道徳ノートの2冊構成になっていることです。これは全学年で用意されております。道徳ノートを開いていただきますと、多くのページに発問が書かれておらず、教員が考えた発問で子どもたちが考え、記入する欄があります。もちろんこの教科用図書にも発問例はあるのですが、授業をする教員が発問を生徒に書かせるということが出来ます。また、毎時間自己評価ができる欄が掲載されています。

3年生の教科書、2ページの目次をお開きください。構成・分量として、いじめに関わる内容の教材が充実しており、計画的に指導ができるようになっています。目次では、ユニットが色分けされています。オレンジがいじめに向き合うユニットです。緑は、よりよい社会

を考えるユニットです。

32ページでは、コミュニケーションの方法や気持ちの伝え方、42ページでは、いじめと法律やSNSでの過剰な攻撃等の不当行為が示されています。

続いて、学研です。学研も3年生の教科書でご説明いたします。

学研の総合評価は、Bといたしました。

学研の3年生の6ページ、「よりよく生きるための22の鍵」を御覧ください。「生命を輝かせて生きる」の中に、「かけがえのない生命」として教材が3つあります。最重点テーマを「いのち」として、全ての学年で、生命の尊さに関わる教材を3つ扱っています。

教科書の巻末に、オレンジのページで「学びの記録」があります。日々の道德の授業について気づいたことを記録する学びのメモと、学期ごとに道德の学びを振り返る学びの記録が巻末に綴じ込みとしてあります。記録を通して、生徒が自らの成長に気づき、自己を深く見つめることができるようになっております。

6つ目の教科書は、あかつき教育図書です。

あかつき教育図書も3年生のもので説明したいと思っております。

あかつき教育図書の総合評価は、Aといたしました。

あかつき教育図書の3年生、32ページ、「卒業文集最後の二行」というところですが、道德教材では定番と言われる教材が扱われるとともに、心に響く感動教材を組み合わせる内容選択がされていることが特徴となっています。「卒業文集最後の二行」は、教員や大人が読んでも胸に残る感動教材であり、家庭での連携も意識できる教材と言えます。

また、32ページの部分で説明いたしますが、構成・分量です。発問について、「卒業文集最後の二行」を37ページまでめくっていただきますと、最後の二行を見て、果てもなく泣いた筆者の気持ちを想像し、筆者とT子さん、それぞれの思いを対比的に考える構成になっています。考える道筋を教員が明確に捉え、授業が進められる構成になっています。教材を読んで考えるための視点を提示し、何をどのように考えるのかを教員と生徒が共有できるので、授業が散漫になることはありません。

そして、各教材の最後に「自分との対話」があり、自分に問い直すなど、自己の生き方につながる発問があるのが特徴です。

最後に、日本教科書です。日本教科書も3年生の教科書を御覧ください。

日本教科書の総合評価はCといたしました。

内容の選択と構成・分量について、一緒に説明させていただきます。

1 ページの目次を御覧ください。シンプルな構成となっています。内容項目の柱、A B C Dの順番で資料が掲載されています。途中に挟まれるコラム等はほとんどありません。2 ページをご覧いただくと、様々なテーマごとにページが示されています。

いじめでは、71ページと75ページ、88ページと目次にあります。71ページの「外見で決めないで」では、マイクロアグレッション、小さな攻撃や差別について扱い、8項目、相互理解、寛容において、いじめにつながる問題に正対して考えるよう配慮しています。

その後の「彼と私のありがとう」についても、同様の8項目ですが、生徒の学校生活の中で陥りやすい場面を取り上げ、気をつけなければいけないこととして認識できるようにしています。

78ページのところに、発問については「考えよう」「深めよう」と示してあり、シンプルに人と人、私たちのよりよい在り方について考えることのできる構成となっております。

以上です。

○**教育長** 御説明ありがとうございました。御意見、御質問がありましたら、お願いいたします。

〔発言する者なし〕

○**教育長** 特に、御意見、御質問がないようです。ここまでの「学習指導要領の中での目標」「教科の特性等」「調査委員会における調査の内容」「その他評価を決定する上での主な議論」などについての質疑を終了します。

続いて、教科用図書検討委員会の検討結果について、検討委員会委員から種目ごとに説明を受け、質疑を行い、採択の対象となる教科用図書の絞り込みを行います。

それでは、まず数学について説明をお願いいたします。

○**教科用図書検討委員会委員** 検討委員会に参加いたしましたので、私からは検討委員会での検討内容についての説明を行わせていただきます。

それでは、数学についての調査検討内容の説明を行います。

まず、学校調査の結果についてです。

最もA評価が多かったのは東京書籍で、10校中7校がA評価でした。調査委員会の調査結果は、大日本図書と啓林館が総合評価としてはAでございました。検討委員会では、東京書籍をA評価といたしました。その理由、意見としては、イラストなど身近に数学を感じる工夫がなされ、生活につなげている。また、巻末の保護者へのメッセージも見られ、秀逸である。既習内容に加え、今後学習する内容が領域ごとに2ページでまとめられており、全体を

通して学習の流れが分かりやすいなどの意見が挙げられておりました。

また、検討委員会では、他発行者に関する意見として、啓林館は問題の配列に工夫が見られ、発達段階に応じて取り組める問題があり、発展的な学習課題も充実しているなどがよい点として挙げられておりました。

最終的に検討委員会として、学校調査、調査委員会調査の報告等も踏まえまして、教科書を確認しながら総合的に判断した結果、学校評価でA評価が最も多く、調査委員会の評価でも評価のよかった東京書籍をA評価といたしました。

以上でございます。

○教育長 説明が終わりました。御質問がありましたら、お願いいたします。

〔発言する者なし〕

○教育長 特に質問はないようですので、ここから採択に最もふさわしいと考える教科用図書について、各委員の御意見を確認していきたいと思います。

初めに、年綱職務代理者からお願いいたします。

○年綱委員 私は単刀直入に、東京書籍がよいと思いました。

理由は2点あります。1点目は、例題がかなり多く、分からない点を例題を見ることで理解しやすいからです。また、発展的な問題もあるので、子どもたちがチャレンジしていきたいなという場合にも学ぶことができるのではないかと思います。生徒一人一人の理解度や進度に応じて学ぶことができるという点で、私は東京書籍がよいと思いました。

2点目です。東京書籍の教科書は、数学的な物の考え方の基本が学べるのではないかと考えました。数学の自由研究においては、生活の中の数学を身近に知ることができると思いました。

この2点から、私は東京書籍を選ばせていただきました。

○教育長 それでは、次に古笛委員、お願いいたします。

○古笛委員 私も東京書籍です。まず第1の理由としては、学校調査、調査委員会、検討委員会、それぞれ評価が高かったということです。

先ほど御質問させていただきましたが、調査委員会で1つCがついていたのが少々気になったのですが、委員長から御説明いただき、実際に教えるときに習熟度別で対応されているとのことでした。先生方がこの点を補えば十分対応できるというお答えでしたので、東京書籍にさせていただきました。

それから、個人的にはどの教科書も本当にすごく分かりやすく、こういう教科書で勉強し

たら私自身ももっと数学が理解できたのではないかと思います。「MATH CONNECT」というコンセプトもすごく分かりやすく、大人になっても数学は全然使わない、生活と離れた感覚があると捉えられがちですが、それぞれの教科のつながりや生活のつながりが目に見える形で書いているため、とても面白いと思いました。

○教育長 続いて、鴨川委員、お願いします。

○鴨川委員 ありがとうございます。私も東京書籍を挙げます。

理由は幾つかあるのですが、まず1点目は、習熟度別クラスのお話が先ほど出ていましたけれども、数学が特に苦手な生徒の目線で考えたときに、「数学のことばを身につけよう」や、「数学の目でふり返ろう」などという、日常とのつながりを明示する文言があり、苦手な生徒にとってみると、そういう気持ちに寄り添ってくれていると感じるのではないかと思います。

2点目は、先ほど古笛委員も挙げておられた「MATH CONNECT」というコンセプトに共感を覚えました。私は大学で教鞭を執っているのですが、大学などでの学びにもつながるように、データで根拠を示して問題解決するという学習に数学をどう活かすか、数学を使ってどうレポートをまとめるかなどが中学校の1年生の段階で明示されており、具体的に説明をされています。こういったことは高校、大学の学びもそうですが、働いてからもまさに「MATH CONNECT」として、つながりをもって学ぶことができるのではないかと思います。

最後は、簡単なことなのですが、空間やレイアウトなど、他発行者と比べても見やすいのではないかと感じました。

以上です。

○教育長 続いて、的場委員、お願いします。

○的場委員 私は、東京書籍と啓林館で悩みましたが、数学科の目標でもあるように、数学を深く楽しみながら粘り強く考え学べるという点で、啓林館を選びました。

理由としましては、啓林館では、ノートをどのように工夫して書いていくと考えが整理されて理解が深まるのかを紹介しており、その見本がほかの教科書よりもまず良いと感じたからです。昔からノート術という本が多く出版されていますが、私もノートの取り方を身に付けることが非常に大事だと思い、評価できるポイントになりました。また、全体的に見やすいレイアウトですし、キャラクターがポイントやヒントを出すのも分かりやすくて良いと感じました。

そして、例題に対する考え方や回答が非常に丁寧であり、生徒の理解につながりやすい点や、ICTを活用した学びに力を入れているため、デジタルコンテンツが非常に充実し、生徒たちが自主的に選んで学べるのが非常に良い点だと思いました。

また、「数学ライブラリー」は一步踏み込んだ興味を引くような内容であったり、「学びをいかそう」では、例えばくじ引きや、料金はどちらが安いかなど、身近な事柄の問いを作成しており、楽しく考えられて取り組みやすいのではないかと感じたことが理由ですので、啓林館を選ばせていただきたいと思います。

以上です。

○教育長 次に、星野委員、お願いします。

○星野委員 私も東京書籍と啓林館で悩ませていただきました。皆様がおっしゃっていたとおり、それぞれの特徴があるのですが、数学というのは取り組みやすいかどうかだと思っています。最初の一步目で抵抗を感じてしまうと、そのままずるずる嫌いになってしまう傾向があると思い、一通り見ていました。

また、私が数学を学んだ時期は大分前ですが、どちらの問題が取り組みやすいかという視点で考慮した結果、私の意見としては啓林館とさせていただきました。

以上です。

○教育長 では、私からお話をさせていただきます。

数学というと、数量や図形を理解する学習や、論理的な力を身に付ける学習など、星野委員がおっしゃるように抵抗を感じるがあると思いますが、身近な問題に活かしていこうという考え方もあり、身近な問題の中で数学が使われているとの話はよく聞くところでございます。

私は東京書籍を選ばせていただきましたが、こちらは「数学の世界へようこそ」の部分で、数学の世界を探検家になったつもりで、新しい世界に入っていこうという章立てがあります。章立ても0章の「算数から数学へ」となっており、新しい世界に行くんだよと思わせてくれます。また、章立ての仕方について、例えば、他発行者の教科書において「正負の数」と数学の言葉で使っているところ、その部分を抑え気味にして「数の世界を広げよう」という形を取っており、どんな世界なんだろうかと興味を湧き立たせる工夫をいただいていると感じました。

それから、先ほどの身近な問題に活かしていこうという部分につながるのですが、データを読み解くことは社会人になっても大変大切なことであり、その分析が正しいのかどうか、

正しい場合には周りにどうやって賛同してもらおうか、次にどうやって活かそうか、などと考えていくと、論理的能力からコミュニケーション力や企画実行力といった、社会に出てからも求められる力も身に付くのではないかと考えております。そのきっかけとして、東京書籍で扱っている部分は統計やデータの扱い方ですが、チームを強くするためにはどうすればいいか、商品の売行きはどうか、といったような形で章の冒頭での問いかけが実践的で現実味がある身近な例を掲げてますが、この質問に対してどういうふうに答えていくのか、数学の世界の中に入りながらページをめくって学習を進めたくなると感じ、私は東京書籍とさせていただきます。

ほかに付け加えて御意見などある方はいらっしゃいますでしょうか、よろしいでしょうか。ほかに御意見がなければ、採択の対象となる教科用図書の候補の絞り込みを行いたいと思います。

数学につきましては、本日の協議を踏まえまして、東京書籍発行の教科用図書と啓林館発行の教科用図書が優れているという皆様の御意見でございました。この2種を採択の対象となる教科用図書の候補として考えるということでよろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

○**教育長** 異議なしということでございますので、次回の教育委員会において最終的に1種に採択対象の候補を絞り込みたいと思います。それまでに皆様の御意見をまとめておいていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

ここで、数学科調査委員会委員長には御退席をいただきます。ありがとうございました。

〔数学科調査委員会委員長 退席〕

○**教育長** 次に、保健体育について、検討委員会委員から説明をお願いいたします。

○**教科用図書検討委員会委員** それでは、保健体育についての調査検討内容の説明を行います。

まず、学校調査の結果についてでございます。A評価が多かったのは大修館書店と学研で、10校中5校がA評価でございました。調査委員会の調査結果は、東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研ともに総合評価でBでした。検討委員会では、大修館書店をA評価といたしました。

その理由・意見として、性に関する多様な記述が分かりやすく、また、ストレス社会に関することなど現代の社会状況を反映した内容となっていること、章のまとめにおいて観点別に問題が提示されていることから、生徒の成長を見取りやすく、指導の改善につなげやすいなどの意見が挙げられておりました。

また、検討委員会では、他発行者に関する意見として、学研、授業のねらい、課題、問題点、解決の手だてがきちんと明記されており、進んで学習に取り組みやすいなどが良い点として挙げられておりました。

最終的に検討委員会として、学校調査、調査委員会調査の報告などを踏まえ、教科書を確認しながら総合的に判断した結果、学校評価でA評価が多く、調査委員会の評価でも評価のよかった大修館書店をA評価といたしました。

以上でございます。

○教育長 説明が終わりました。御質問がありましたらお願いいたします。

○古笛委員 学校調査についてですが、大修館書店で1個だけCがついており、なぜCなのか理由は分かりますでしょうか。

○指導主事 こちらのABCの評価につきましては、Cが普通、Bがやや優れている、Aが優れているというもので、優れている点について学校から報告をいただいておりますので、基本的に特段特徴的なところがなければCの普通と評価いただいていると認識しております。

以上です。

○教育長 よろしいですか。

○古笛委員 はい。

○教育長 ほかに何か御質問などございましたら、お願いいたします。

実際の教科書の使い方について質問です。保健体育の中に、例えばデジタルとの関わりや性の多様性など、教科書を作製した時点よりも世の中のほうが進んでいることはよくあると思うのですが、教科書と現場の教室の中での先生の取組を分かる範囲で教えていただけますでしょうか。

○保健体育科調査委員会委員長 当然教科書ができたときと時代の流れというのは変わっていくところではあるのですが、既に教科書を使って授業を行っておりますので、教科書の必要な部分は教科書を使う、デジタル等の部分については、新しいものを取り入れていく形で補っておりますので、世の中が進んでしまうということは折り込み済みで教員は対応しております。

以上です。

○教育長 折り込み済みで柔軟に対応していただいているという意味でよろしいんですね。

○保健体育科調査委員会委員長 はい。

○教育指導課長 特に保健体育の分野では、性に関する教育やLGBTQについては、かなり

社会情勢が進んでいる状況がございます。東京都教育委員会は、性に関する教育について、学習指導要領を超えた内容でも行ってよいという資料を作っており、実際にモデル校として、本区でも行っている中学校がございます。それは保護者、生徒への説明を十分に行った上で進める形を取っております。

○教育長 ありがとうございます。ほかに御意見、御質問などあれば、お願いいたします。

〔発言する者なし〕

○教育長 ほかに御意見、御質問がなければ、採択に最もふさわしいと考える教科用図書について、各委員の御意見を確認したいと思います。

それでは、まず年綱職務代理からお願いします。

○年綱委員 教科書を拝見しまして、スポーツの在り方、共生社会の在り方、性の多様性、環境、災害など、私たちが学んだ時代とは違い、幅広い内容になっていることに驚きました。

小学校では何を学んでいたのか、中学では何を学ぶのか、高校では何を学んでいくのだろうか、小・中・高で学習することを系統立てて示してある大修館書店の教科書は、中学で学ぶことに興味と深い関心が持てるのではないかと思います。自ら今までを振り返り、先の見通しを立てて何を学ぶのか、主体的な学びを導く工夫もされており、良いと思いました。

身近に思えるコラムや資料が多いことで、自分事として捉えることができるほか、学習のまとめでは、学んだことを生かし考えることで、課題を見つけることができると思いました。

このようなことを考え、私は大修館書店が良いと思いました。

○教育長 続いて古笛委員、お願いします。

○古笛委員 私は大修館書店と学研でとても迷いましたが、最終的には大修館書店にしました。

大修館書店ですが、学校調査、調査委員会、検討委員会、それぞれ評価が良いというところ、また、先ほど御質問させていただいたとおり、学校調査で1個だけC評価でしたが、普通ということであれば問題ないと考えました。

内容はどの教科書も面白く読ませていただきましたが、教育長から御質問があったとおり、社会のほうが進んでいる点については、先生方のほうが柔軟に対応していただいているということであれば、良いと思ったのですが、極めてざっくりした印象ですが、今回、大修館書店の教科書は「攻めている」感が非常にありました。というのは、HPVワクチンのことについて触れられたり、私は仕事柄エピペンに関しての事故のことも扱うので、子どもたちがそういうことを知っておくということはすごく大事だと思ったため、こういった記載があるという意味から大修館書店は、私自身も面白いなと思って拝見させていただいたところです。

○教育長 では、次に鴨川委員、お願いします。

○鴨川委員 私も学研と大修館書店でそれぞれ迷いましたが、大修館書店を選びました。

理由は次のとおりです。特に、私自身の専門から性の多様性に着目をして、理由を述べたいと思います。

ジェンダーの話に加えてセクシャリティにも目配せしているか否かというところで、各発行者が分かれてくるのだなと、拝見していて思いました。そのときに大修館書店は、セクシャリティに関する項目が盛り込まれている点に特徴があると思います。

先ほどのやり取りでも、やはり時代が先行してきており、それについて教科書で触れないことはいかなるものかと考えております。アンケートなどを見ていると、あまり触れ過ぎるのもよくないという意見もありましたが、ここはやはり性の多様性には正面から古笛先生の言葉を借りると、「攻める」というのも必要だと思いました。

それだけではなく、例えばその性の多様性に関して見てみても、単体で性の多様性でこういうのがあるとお伝えするのではなくて、大修館書店の場合は、「いじめにつながる」とか、「ストレスや心の健康の問題につながるんだ」と、別の課題とつなげて取り扱っているところが秀逸でした。そうすると、当事者ではなくても人ごととして考えるのではなく、生徒も受け入れやすくなるのではないかなと思います。これは大きな1つの理由です。

もう一つは、心の悩みをもった生徒がどんどん増えているのだと思いますが、誰に何をどのように相談すればよいかという点が、大修館書店に関しては明示的に、非常に明確に分かりやすく書かれているという点が良いと考えました。

以上、2点です。

○教育長 続いて的場委員、お願いします。

○的場委員 私も大修館書店を選びました。

まず、全体的に文字や色使いが工夫されており、図や挿絵や写真が非常に効果的に配置されているので、理解しやすい教科書だと思います。そして、章のまとめの問題が復習しやすい内容になっていて活用しやすいそうですし、「保体クイズにトライ！」を私も実際にやってみたのですが、クイズで簡単に振り返りができるため、非常に評価できる点でございました。

また、性の多様性やがん教育、スマホと健康やSDGsなど、現代の様々な課題について触れており、ほかの発行者よりも、より明確に深く分かりやすく言及しているのも良かった点です。

それから、3年生の感染とがんのページでは、公費負担でHPVワクチン接種ができるこ

とについて触れておりまして、中学3年生の女子でまだHPVワクチンを接種していない生徒が、その教科書を読んで、家庭でワクチン接種について親に相談するきっかけになるかもしれないと思い、あえてここに記載することに意味があると感じました。

また、止血ですとか、それからエピペンのような応急手当についても、正しい知識を得ることができ、生活の中で大切なことを分かりやすく学べる一番の教科書だと思い、大修館書店を選びました。

以上でございます。

○教育長 星野委員、お願いします。

○星野委員 私は医師という立場から拝見しました。保健の教科書というのは基本的なことが分かれば良いという考えもあると思うのですが、中学生が今、そして近い未来に必要な知識については教科書に載せるべきであるというのが私の考え方で、その幾つかについて触れさせていただきます。

まず、メディア接触に関しましては、現在GIGAスクール構想の中でタブレット等を使う機会が増えています。授業中に使うタブレットを極端に減らすというのは難しいと思うのですが、ふだん使いのパソコンやスマートフォンなどの接触時間を減らすことが必要になると思います。

昔から言われているのですが、長時間のメディア接触は理性を司る前頭前野の発達が悪くなり、切れやすくなる子どもができると言われております。それについて、触れてあったことに少々驚いております。

性の多様性に関しましては、皆さんがおっしゃっているとおりのため省略させていただきますが、あとはがんの予防についてです。がんというと高齢になってかかるものだという認識があると思うのですが、子宮頸がんに関しましては若い女性、特に出産適齢期や子どもを育てる世代がかかり、子宮を失ったり死亡したりするがんです。それで、HPVといいますヒトパピローマウイルスに感染することによって起こり、予防にはHPVワクチンが有効であることが分かっております。実際の対象は小学校6年生から高校1年生なので、正直、中学校の教科書で使っていただかないと困ります。更に言うと、もう少し早く触れてほしいです。本当は中学1・2年生ぐらいで触れていただくのが一番良いと思います。また、できれば感染源となる男子に関しての記載もあるとありがたいと思います。もちろん男子もHPVにかかりますと、陰茎がんなど、様々ながんになる可能性があります。あと、性病としての尖圭コンジローマがあるため、その辺も触れていただけると良いと思っております。

あと、性感染症でどの教科書も梅毒が増えているという記載はあります。ただ、盲点だと思ったのは、今の梅毒で究極的に何が困るかという母子感染、いわゆる先天梅毒といって、赤ちゃんが重症な感染症になってしまうという問題です。

唯一、学研が問いかけの中でなぜ若い世代に増えているのかという項目があるのですが、問われて答えられる先生がどれぐらいいるかなという問題もあるため、答えも出していただきたいと思いました。

あと、体育に関しまして、スポーツ障害に関しては東京書籍がかなり詳しく書いてありましたけれども、大修館書店も触れておりました。

あと、熱中症も2年生の体育理論の中で、スポーツの安全ということで触れており、詳しく載っていたのが分かったのですが、2年生からその後ろの詳しいところにつながるリンクがあるのは大日本図書と学研だけで、大修館書店はせっかく良いことを書いているのに、その辺につながるものがなかったというのがありました。以上のことを総合的に判断して私も大修館書店が良いと判断いたしました。

以上です。

○教育長 私も意見を述べさせていただきます。

私も結論としては大修館書店にしました。

性の多様性のところでは、「『性』について固定的な考え方に気づこう」と特集をつくりまして、「『男性らしく、女性らしく』って何だろう？」、「人間の性はいくつある？」などという形で取り上げていました。

デジタルとの関わりでは、「見直そうスマホの習慣」という特集を組み、健康への影響ということで、目や肩、脳への影響を記述するとともに、インターネット依存などにも触れられていました。

そのほかにも、いろいろな分野で特集資料やコラム、事例があり、イラストや写真なども多く掲載されておりまして、考えを深めたり理解を促進したりすることにつなげようと工夫されているのだなと感じました。

以上です。

ほかに御意見がなければ、今までの協議内容の確認をしたいと思います。

保健体育につきましては、本日の協議を踏まえ、皆様の総意として、大修館書店発行の教科用図書を採択の対象となる教科用図書の候補とするということで、よろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

○教育長 ありがとうございます。

それでは、そのように進めたいと思います。

ここで、保健体育科調査委員会委員長には御退席いただきます。ありがとうございました。

〔保健体育科調査委員会委員長 退席〕

○教育長 それでは、続いて美術についての説明をお願いいたします。

○教科用図書検討委員会委員 それでは、美術についての調査検討内容の説明を行います。

まず、学校調査の結果についてです。A評価が最も多かったのは開隆堂出版と光村図書で、10校中4校がA評価でございました。調査委員会の調査結果は、光村図書が総合評価でAでございました。検討委員会では、光村図書をA評価といたしました。

その理由、意見として、レイアウトにめり張りがあり、印象的で美しく迫力のある写真が生徒の興味・関心を高めること。また、各単元に学習の目標が示され、教師の授業の進行のしやすさに寄与している、こういった意見が挙げられておりました。

また、検討委員会では、他発行者に関する意見として、開隆堂出版、美術と社会との関わりについての記述が充実しており、他教科との関連やキャリア教育との関連など、多様な視点が見られるなどが良い点として挙げられておりました。

最終的に、検討委員会として学校調査、調査委員会調査の報告などを踏まえ、教科書を確認しながら総合的に判断した結果、学校評価でA評価が最も多く、調査委員会評価でA評価であった光村図書をA評価といたしました。

以上でございます。

○教育長 説明が終わりました。御質問がありましたら、お願いをいたします。

〔発言する者なし〕

○教育長 特に御質問がないようですので、採択に最もふさわしいと考える教科用図書について、各委員の御意見を確認したいと思います。

年綱職務代理者からお願いします。

○年綱委員 各発行者の教科書を拝見したときに、鮮やかで美しくてきれいで、一瞬鳥肌が立ちました。日本の印刷技術は素晴らしいと思った次第です。各発行者、生徒に本物の作品を観せたいという熱意が感じられ、この点におきましては優劣をつけ難かったです。鑑賞、技法、美術史などの座学を学ぶ教科書と、自ら表現し作品を制作するときに参考となる資料が別冊になっている光村図書は、制作過程が分かりやすく使いやすいと思いました。

また、鑑賞から制作・表現とつながっているため、一体感があって内容をより深めること

ができるとも思いました。

日本画を学ぶ内容で、原寸大に加えて質感をできる限り本物に近づけている点も素晴らしいと思いました。

この3点から、私は光村図書を選ばせていただきました。

○教育長 古笛委員、お願いします。

○古笛委員 私も最終的には光村図書にさせていただきました。

本当にどの教科書もきれいで、手元に置いておきたいものだと感じました。開隆堂出版の教科書は、表紙の質感に工夫があり、面白いと思いました。光村図書の教科書では、一部で和紙が使われている点が良いと思いました。最終的には、学校調査、調査委員会、検討委員会、それぞれ評価の良かった光村図書が良いと思いました。

また、先ほど調査委員会から御報告でもありましたが、1年生の教科書で言葉を大切にしたい編集がされているとの特徴について、良い点であると思いました。

○教育長 鴨川委員、お願いします。

○鴨川委員 私も光村図書が良いと思いました。

理由は次のとおりです。光村図書の教科書は、特に生活とのつながりを意識できる構成であり、例えば漫画、ラッピング、紙袋など、日常的に生徒が目にするようなものの中での美術を扱っているところが、取り組みやすく良いと思いました。それが1つ目です。

2つ目は、先ほど古笛先生もおっしゃっていましたが、教科書の中に和紙があり、和のテイストに工夫が凝らされているという点に魅力を感じました。教科書を開けた際に、和紙の質感だけでなく、匂いも感じました。美術というのは、単に観るだけではなく五感に訴えるものであることが、その和紙を通じて伝わってきました。和菓子の造形もあったり、生活や社会につながるような日本の和の文化を知ることができたりする点も良いと思いました。

3つ目は、別冊資料の「日本と世界の伝統色図鑑」です。日本と世界の伝統色が一見して分かるようにまとめられており、和と世界と、それぞれバランスよく見ることができる点に魅力を感じました。

4つ目は、他発行者より日本・諸外国の美術作品の掲載に紙幅を割いている点です。教科書で日本・諸外国の美術作品を多く鑑賞することができることも良いと思いました。

以上です。

○教育長 次に、的場委員、お願いします。

○的場委員 私は、開隆堂出版と光村図書で本当に最後までとても悩みました。開隆堂出版の

教科書は、表紙がずば抜けて素晴らしく、見て触って楽しめるというこだわりに感動しました。また、教科書を手に取っただけで美術が好きになるのではないかというくらいのインパクトを感じました。特に2年・3年の表紙は、ゴッホのひまわりを載せており、新宿区内のSOMPO美術館で鑑賞したいと思う生徒が出てくるのではないかと思います、高く評価できました。

しかし、他発行者の教科書と比較したときに残念に感じるころもありました。1年生の教科書の学びの資料「美術館へ行こう」で美術館内部を紹介しているのですが、特色のある美術館や話題の美術館などのきれいな写真を載せて、美術館へ行きたいと思わせる工夫が欲しかったと感じました。

また、生徒作品を載せているのは良いのですが、作者の言葉の文字が少し小さくて薄いので、他発行者の教科書より読みにくいと感じました。

一方で、光村図書は、表現と鑑賞の活動が非常に分かりやすく、上手に掲載されております。1年生の「美術館を楽しもう」や、「芸術祭へ行こう」という資料、それから2年・3年の「憩いの場をつくる」では、本当にきれいな写真を載せており、実際に足を運びたいくなるような見せ方で、とても良いと感じました。

特に2年・3年の教科書の内容が非常に良いと感じており、「日本の絵画を楽しむ」では、先ほど鴨川先生もおっしゃっておいりましたけれども、和紙の質感にこだわって日本文化を伝えている点も非常に魅力に感じましたし、「メッセージを伝える」は、新宿区の生徒が平和のポスターコンクールに出品する際の参考になると感じました。

また、「印象に残る映像表現」や、「地域の魅力を表すパッケージ」も、生徒の興味・関心がある内容を分かりやすく伝えている点が非常に良いと感じました。

そして、最終的な評価の決め手になったのは、光村図書の別冊資料の素晴らしさです。写真が多く掲載されており、分かりやすく、説明も丁寧です。また、持ち運びできるサイズでボリュームもちょうどよいと感じました。3年間使いやすい資料がついている光村図書を私は選びたいと思います。

以上でございます。

○教育長 星野委員、お願いします。

○星野委員 私も光村図書を選ばせていただきました。確かに開隆堂出版の表紙や光村図書の和紙の手触りは特筆すべきことだと思います。

幾つか気になった点を挙げさせていただきます。1つ目は、開隆堂出版では著作権につい

て触れている点です。道徳で触れる点ですが、美術品を扱うとなると、美術の教科書においても著作権について触れておくべきであると思いました。

2つ目は、教科書の中で、絵の実際の大きさは表現できない部分もありますが、光村図書では、小さい写真でも人間と一緒に写すことで絵の大きさを感じさせる写真が載っています。大きな絵を大きく表現させる点で、光村図書は良いと思いました。

3つ目は、写真を撮るということに関して、光村図書は構図や主題の撮り方が載っています。日本文教出版でも撮影時の注意等の記載がありましたが、写真という分野に関して、光村図書の表現はとても分かりやすかったと思います。

4つ目は、皆さんおっしゃっていますけれども、別冊です。別冊に関しては、持ち歩くことによっていつでも使えるということで、評価できるものと考えました。

よって、私は光村図書を選びました。

○教育長 私は美術を見まして、さすが美術の教科書だと思いました。絵や写真が豊富できれいと感じました。開隆堂出版の立体的な表紙、光村図書の和紙の質感、すごい工夫があると思い本当に驚きました。

結論としましては、私も光村図書にさせていただきました。学校調査、調査委員会、検討委員会全てで評価が高い点が主な理由です。

また、資料が別冊になっている点で、生徒は使いやすいと感じました。

あと、調査委員会委員長からもありましたが、平和の大切さを伝えるための作品が特集されている点で、新宿区は平和宣言都市であり、平和のポスターを多くの生徒に応募して頂いているため、ふさわしい題材があると思い光村図書にさせていただきました。

他に御意見ございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

○教育長 特に無ければ、今までの協議内容の確認をしたいと思います。

美術につきましては、本日の協議を踏まえ、皆様の総意として、光村図書発行の教科用図書を、採択の対象となる教科用図書の候補とするということによろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

○教育長 それでは、そのように進めたいと思います。

ここで、美術科調査委員会委員長には御退席いただきます。ありがとうございました。

〔美術科調査委員会委員長 退席〕

○教育長 次に、道徳について説明をお願いいたします。

○教科用図書検討委員会委員 それでは、道徳についての調査検討内容の説明を行います。

まず、学校調査の結果についてです。A評価が多かったのは教育出版で、10校中5校がA評価でございました。調査委員会の調査結果は、東京書籍、日本文教出版、あかつき教育図書が総合評価でAでございました。検討委員会では、東京書籍をA評価といたしました。

その理由、意見として、写真を豊富に取り入れ、特に葛藤教材についてつくりが優れている。また、考えを深めさせやすい教材づくりがなされていること。アンコンシャス・バイアスについての記述が優れている。こういった意見が挙げられておりました。

また、検討委員会では、他発行者に関する意見として、日本文教出版、いじめに関する教材が充実しており、未然防止に向けての指導が展開できる教科書であること。あかつき教育図書、各教材の最後に「自分との対話」があり、自己を見つめる発問があるなどが良い点として挙げられておりました。

最終的に、検討委員会として、学校調査、調査委員会調査の報告などを踏まえ、教科書を確認しながら総合的に判断した結果、学校評価でA評価が3校あり、調査委員会評価でA評価であった東京書籍をA評価といたしました。

以上でございます。

○教育長 説明が終わりました。御質問がありましたら、お願いをいたします。

〔発言する者なし〕

○教育長 特に御質問ないようですので、採択に最もふさわしいと考える教科用図書について、各委員の御意見を確認したいと思います。

年綱職務代理者からお願いします。

○年綱委員 中学生は、自尊心と劣等感の間で揺れ動く年齢だと思います。自ら自分の周りを見たり、社会に目を向けて自問自答して苦しむ年代だとも思っています。そんな生徒たちの心に響く内容を考えたときに、私は、写真や資料が多くて、生徒たちが見聞きしている内容は自分に置き換えて考えられるのではないかと思います。東京書籍は、その点で良いと思っています。中学生は、勉強、学校行事、部活、受験など、毎日を忙しく過ごしているため、学期末ごとに短時間で自分の学びを振り返ることのできるシートの工夫はとても良いと思いました。この2点から、私は東京書籍を選ばせていただきました。

○教育長 次に、古笛委員、お願いいたします。

○古笛委員 私も、最終的には東京書籍です。

道徳に関しては、それぞれの教科書が本当にいろいろ工夫されており、日本文教出版の別

冊ノートも面白いと思いましたが、評価は分かれるという気がしました。学校調査、調査委員会、検討委員会で評価が高かった東京書籍を選びましたが、現在使用している教育出版も学校調査がとても高かったので、中学校では使い勝手が良いのだろうと感じました。そのため迷いましたが、最終的に津田梅子さんが掲載されているというのは、新宿区としてインパクトがあったため、東京書籍が良いと思いました。

○教育長 鴨川委員、お願いします。

○鴨川委員 私も東京書籍を選びました。

一番特徴的だったのが、道徳の指導方法の一つの中に、問題解決的な学習の工夫があった点です。東京書籍の教科書の中に各学年で「p 4 c」という探究の対話があります。他発行者の教科書でも似たようなものはあるものの、東京書籍で優れていると思ったところは、問いを生徒に考えさせるという点であると考えましたし、それがまさに道徳らしい学びにつながるのではないかと思います。道徳は答えがないという点が良いところですし、特性だと思っています。自らの考えをもつための前提として、問いを自分で立てる必要があると思っており、その演習を設定している点で良いと思いました。光村図書でも似たようなところがありました。学校調査、調査委員会、検討委員会の結果などを踏まえて東京書籍を選びます。

もう一つ、先ほどの検討委員会の御説明にもございましたが、アンコンシャス・バイアスについて1年生で触れています。それに関して「アンコン」というふうに省略して記載しており、中学生に面白く伝わるような工夫がされているのが良いと思いました。欲を言えば、「アンコン」を学校の中で見付けてほしいと思っており、例えば校長室で飾られている写真がほとんど男性だということをどう思うかなど、教科書で学んだことを活かした学びの促し方もあると思いました。

以上です。

○教育長 続いて、的場委員、お願いします。

○的場委員 今回、私が選ぶ上で特に悩んだのが、幾つかの発行者で教材として取り上げられている登場人物についてです。スポーツ選手や著名人が不祥事を起こしたにもかかわらず、道徳の教科書に掲載されていることに違和感を覚えました。悩んだ末、最終的には東京書籍の教科書を選びました。違和感をもった登場人物が掲載されていますが、他発行者より全体的に写真やイラスト、アニメなどが多く使われており、生徒が興味を示しやすく大変読みやすい教科書だと感じました。

また、「考えよう」「見つめよう」「考えようをぐっと深める」という設問が用意されていたり、自分の学びを振り返るシートがあることで生徒が自ら考えるように工夫したりしている点も評価できました。

それから、教材では生徒たちが日常で使っているようなメッセージアプリの写真を載せており、より自分ごととして情報モラルについて考えられるように工夫されていました。集団や社会との関わりのテーマでは、国際理解として外国から来た転校生について取り上げられており、様々な国籍を持つ生徒がいる新宿区では大事な内容だと思い、評価できました。

新宿区に関わることでしましては、コラム「プラス」で安藤百福について取り上げていますが、何ととっても今回、先ほど古笛委員もおっしゃいましたけれども、新宿区で生誕した津田梅子を教材で取り上げられたということが一番の決め手となりまして東京書籍を選びました。

以上でございます。

○教育長 星野委員、お願いします。

○星野委員 どの教科書もすばらしい内容で、設定等も無理がなく、特定の答えに誘導するような設問もなかったと思いましたので、大変悩みました。

その中で、皆さんもおっしゃっていますけれども、設問の分かりやすさ、津田梅子を取り上げたこと、学校調査、調査委員会、検討委員会での評価を考え、東京書籍がいいと考えました。

以上です。

○教育長 私も東京書籍にさせていただきました。

集団社会との関わりの内容が充実していると思ひまして、新宿区は100を超える国や地域から集まってきた方々が共に暮らす多文化共生社会でありますので、新宿区の実態に即している内容であると思ひました。

また、いじめや人権、生命の尊重や情報モラルなどの教材も、身近な話題から展開して自分への問い、周りと考えを共有し、身近ですぐ起こりそうだな、こんなときどうしたらいいんだろうと考えさせることができる取上げ方をされているので、東京書籍にさせていただきました。

他に御意見などございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

○教育長 特に無ければ、今までの協議内容の確認をさせていただきます。

道徳につきましては、本日の協議を踏まえ、皆様の総意として、東京書籍発行の教科用図書を選採の対象となる教科用図書の候補とするということによろしいでしょうか。

〔異議なしの発言〕

○教育長 それでは、そのように進めたいと思います。

以上で、本日の種目ごとの質疑と、採択対象となる教科用図書の候補の絞り込みを終了いたします。

本日の協議は終了いたしますが、事務局から何かございますでしょうか。

○教育調整課長 特にございません。

◎ 閉 会

○教育長 それでは、本日の教育委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午後 4時01分閉会